

茨城県東茨城郡大洗町

史跡 磯浜古墳群 保存活用計画

2023

大洗町教育委員会

茨城県東茨城郡大洗町

史跡 磯浜古墳群 保存活用計画

2023

大洗町教育委員会



1. 磯浜古墳群の位置



H29 年度作成 大洗町長公室所蔵空中写真を利用

1. 磯浜古墳群の構成

0 100m

序 文

史跡 磯浜古墳群は、3世紀後半～4世紀代の古墳時代前期～中期初頭に築造された、東日本の太平洋に面する古墳群です。戦後間もない昭和24年に國學院大學の大場磐雄博士により粘土槨全体が発掘調査された学史的に著名な日下ヶ塚古墳（常陸鏡塚）が特に有名です。その他にも、全国有数の大型円墳である車塚古墳、那珂川流域においてはやい時期に前方後円墳を築造し、埴輪を導入した坊主山古墳、在地の弥生文化の中に初めて高塚の墳墓が導入される前方後方墳の姫塚古墳などの、特徴的な6基の古墳から構成されています。

古墳時代前半の各時期の新しい古墳文化がこの大洗磯浜の地に波及しており、大洗の持つ、地勢的な特性を確認することができます。この海とともに形成された地域の特性は、歴史的に積み上げられ、現代の我々の生活に影響を与えています。

今回の史跡 磯浜古墳群 保存活用計画は、この古墳群の持つ本質的価値を明らかにし、書物として明示することで、現代を生きる我々はその価値を自覚し、未来を担う児童生徒や町民が大切に継承しようとする柱となるものです。本計画の趣旨が多様な皆様に浸透し、現代の社会の中で真に活用されますことを願っております。

最後になりますが、本計画の策定にあたり、内容についてご審議いただきました史跡 磯浜古墳群保存活用計画策定委員会広瀬和雄委員長ほか委員の皆様、多大なご指導とご協力を賜りました文化庁文化財第二課、茨城県教育庁文化課の皆様、その他ご理解とご支援をいただきました関係各位に心より感謝申し上げます。

令和5年12月

大洗町教育委員会

教育長 長谷川 馨

例 言

1. 本書は、茨城県東茨城郡大洗町磯浜町字日下ヶ塚2865番8を代表地番とする史跡 磯浜古墳群の保存活用計画である。
2. 本計画の策定は、大洗町教育委員会が事業主体となり、令和3年度から令和5年度の3か年にわたり実施し、令和3・4年度については、文化庁の国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金の交付を受けた。
3. 本計画の策定にあたっては、『磯浜古墳群保存活用計画策定委員会条例』に基づき、史跡 磯浜古墳群保存活用計画策定委員会（広瀬和雄委員長）を設置して、調査・研究、審議を進め、『史跡 磯浜古墳群保存活用計画（素案）』を作成し、大洗町教育委員会に建議された内容に基づき、大洗町教育委員会で策定したものである。
4. 本計画策定に関わる事務は、大洗町教育委員会生涯学習課が担当し、支援業務を令和3年度は応用地質株式会社が、令和4年度は（有）歴史環境研究所が、それぞれ受託した。
5. 本計画の策定にあたっては、文化庁文化財第二課、及び茨城県教育庁総務企画部文化課の指導・助言を受けた。

目 次

巻頭図版
序 文
例 言

第1章 計画策定の沿革・目的	1
第1節 計画策定の沿革	1
第2節 計画の経緯	2
第3節 計画の目的	2
第4節 本計画の対象範囲	2
第5節 委員会の設置・経緯	4
第6節 他の計画との関係	8
1. 上位計画	11
2. 連動する計画	13
第7節 計画の実施	22
第2章 磯浜古墳群の概要	23
第1節 指定に至る経緯	23
第2節 指定の状況	25
1. 指定告示	25
2. 指定説明文とその範囲	25
第3節 指定地の状況	29
1. 土地・建物の所有関係	29
2. 管理者の有無	32
3. 管理団体の指定	32
4. 公有化の経緯	34
第4節 指定に至る調査の成果	35
1. 取り巻く自然環境	35
1-1. 位置・地勢	35
1-2. 気 候	35
1-3. 地形・地質	36
1-4. 植 生	36
1-5. 動 物	37
2. 取り巻く社会環境	40
2-1. 交 通	40
2-2. 観 光	41
2-3. 関連法規制	43
3. 取り巻く歴史環境	47
3-1. 大洗町の成り立ち	47
3-2. 大洗町の文化財	48
3-3. 磯浜古墳群と周辺の遺跡	49
3-4. 弥生時代～古墳時代の周辺の遺跡	57
3-5. 前期古墳社会の海運ネットワーク	61
3-6. 常陸における海運ネットワーク	62
3-7. 常陸北部の前期・中期前半古墳	62

3-8. 望洋館跡・磯浜海防陣屋跡	64
第5節 磯浜古墳群の概要	68
1. 磯浜古墳群の概要	69
1-1. 姫塚古墳	70
1-2. 車塚古墳	73
1-3. 日下ヶ塚古墳	75
1-4. 坊主山古墳	86
1-5. 五本松古墳	87
1-6. 五本松下古墳	87
2. 磯浜古墳群の特徴	88
2-1. 構造	88
2-2. 出土遺物と変遷	89
3. 磯浜古墳群・埴輪の変遷	90
3-1. 磯浜古墳群の変遷	90
3-2. 埴輪の変遷	91
第3章 磯浜古墳群の本質的価値	93
第1節 磯浜古墳群の本質的価値の明示	93
第2節 構成要素の特定	95
第4章 磯浜古墳群の現状と課題	97
第1節 保存管理の現状と課題	97
第2節 活用の現状と課題	111
第3節 整備の現状と課題	116
第4節 運営・体制の現状と課題	122
第5章 大綱・基本方針	124
第1節 大綱	124
第2節 基本方針	124
第6章 保存管理の方向性と方法	126
第1節 方向性	126
第2節 方法	126
1. A地区	128
1-1. 個別の古墳の保存管理の方法	128
1-2. 現状変更等の取扱方針と取扱基準	133
1-3. 土地の公有化	136
2. B地区	136
2-1. 個別の古墳の保存管理の方法	137
2-2. 追加指定	139
2-3. 追加指定を受けた土地の公有化	139
3. C地区	140
3-1. 埋蔵される未発見の古墳	140
4. 望洋館・磯浜海防陣屋跡の保存管理の方法	140
5. 太平洋と那珂川流域・澗沼水系の眺望の保存管理の方法	140

第7章 活用の方向性と方法	141
第1節 方向性	141
第2節 方法	141
1. 学校教育	141
2. 生涯学習	142
3. 観光振興・地域振興	143
第8章 整備の方向性と方法	144
第1節 方向性	144
第2節 方法	144
1. 追加調査と復元整備	144
2. 憩いの場としての整備	145
3. 地域振興や観光資源としての整備	145
4. 歴史公園としての整備	147
5. 考古学博物館（常設展示施設・収蔵施設・企画展示施設等）の整備	147
6. アプローチの整備	148
第9章 運営・体制の整備	150
第1節 方向性	150
第2節 方法	150
1. 体制の充実	150
2. 庁内連携	150
3. 専門家による指導助言	150
4. 様々な機関との連携	150
5. 町民との連携・協働	151
第10章 施策の実施計画	152
第1節 施策の実施計画	152
1. 短期的計画（令和5～9年度）	152
2. 中期的計画（令和10～14年度）	152
3. 長期的計画（令和15～19年度）	152
第2節 実施計画の総括表	153
第3節 計画の更新・見直し	154
第11章 経過観察	155
第1節 方向性	155
第2節 方法	155
1. 計画・実行・評価・改善	155
2. 点検項目	156
引用・出典・参考文献	157